

## ◎ミノマイシン錠 [内], ◎ミノマイシン/ミノサイクリン点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ミノサイクリン塩酸塩 (MINO) (U) Minocycline Hydrochloride 【分類】テトラサイクリン系抗生物質製剤

【単位】◎50mg・▼100mg錠, ◎100mg/V

【常用量】■内服: 100~200mg/日

■注射: 100~200mg/日

【用法】■内服: 分1~分2 [食後が望ましい]

■注射: 12~24hr 毎に30分~2時間かけて点滴静注

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (3,4,7,10, Welling PG, et al: Antimicrob Agents Chemother 8: 532-7, 1975 PMID: 1211910)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (3, 7, 10, 12)

【その他の報告】PKに変化なく腎毒性の証拠もない (Welling PG, et al: Antimicrob Agents Chemother 8: 532-7, 1975 PMID: 1211910)

【特徴】蛋白合成を阻害し静菌的な抗菌作用を発揮し、静止期の菌よりも増殖期の菌により強く作用する。他のTC剤よりも菌体内への薬剤透過性がよい。細胞壁を持たない細胞内寄生病原体であるマイコプラズマ、クラミジア、リケッチアや、マラリアなどの一部の原虫にも効果を有する。主にβラクタム系薬が無効な細胞内寄生病原体に対して選択される。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー、SLE 様症状、SJS、Lyell 症候群、剥脱性皮膚炎、血液障害、肝障害、間質性腎炎、急性腎不全、間質性肺炎、PIE 症候群、肺炎、痙攣、意識障害等の精神神経障害、聴覚障害、耳鳴り、呼吸困難、めまい、脳圧亢進による頭痛、歯牙の変色、皮膚と爪の著明な光過敏症など。めまいの発現頻度は女性で高い。

【安全性に関する情報】静脈炎を避けるため希釈量守り、ゆっくり点滴静注 [末梢ルートの場合] (1) めまい感があらわれることがあり、自動車の運転等危険を伴う機械の操作及び高所での作業等に從事させないように注意 (1)

【吸収】食事の影響はほとんど受けない (U) 100% (11) 95~100% (13)

【F】内服: 90~100% (1) 初回通過効果を受けるのは5%以下 (11) 90% (14) 90~100% (U)

【tmax】2hr (1) 2~4hr (U,13) 【Cmax】200mg を1時間点滴したとき 3.5 μg/mL、100mg を1日2回経口投与したときの定常状態で 2.3~3.5 μg/mL (13)

【代謝】肝代謝により、一部は不活性化される (U)

【排泄】尿中未変化体排泄率 10% (14) 11% (13) 6~10% (12) 5~10% (U) 主に胆汁排泄 (U)

【CL】0.79mL/min/kg (7) 1.0mL/min/kg (13) 【透析患者の CL】0.96mL/min/kg (7) 【非腎 CL/総 CL】85% (10)

【t1/2】12hr (2,14) 11~26hr (6) 12~16hr (10,11,12) 16hr (13) 11~23hr (U)

【腎不全患者の t1/2】11~23hr (U) 12hr (2) 14~30hr (6) 20.1hr (7) 12~18hr (10,12)

【蛋白結合率】76% (U,7,11,13) 60~75% (6) 70% (12)

【Vd】0.99L/kg (7) 0.14~0.7L/kg (U) 1.5L/kg (10) 0.43L/kg (14) 1.3L/kg (13) 1.0~1.5L/kg (12) 【透析患者の Vd】1.43L/kg (7)

【分布】唾液、痰、涙で高濃度に達する (U) 胆汁、前立腺、尿道、皮膚、卵管、消化管、喀痰などへの移行も良い (1) 中枢移行は悪い (1)

【MW】493.9

【透析性】5%以下 (4) 透析後の投与不必要 (7) HD によりゆっくりと除去される (U)

【PD】PD では効果的な除去はできない (U)

【TDM のポイント】有効治療域 1.6 μg/mL 以上 (16) 0.5~3 μg/mL (14) TDM を実施する必要はない

【O/W 係数】1.48 (11) 1.48 [1-オクタノール/buffer, pH6.6] (1) 【pKa】2.8, 5.0, 7.8, 9.5 (1)

【相互作用】二価または三価金属イオン [Ca, Mg, Al, La, Fe] と消化管内で難溶性のキレートを形成して吸収が阻害されるので、服用間隔を2~4時間空ける (1) フルファリンの作用増強 (1)

【備考】内服時にはアルカリイオン水を使用しない。点滴静注にはインラインフィルターを使用してもよい [フィルターは微黄色に着色するが回収率 100%] (1)

【更新日】20220716

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。